



【校長先生便りです！ガレージは在籍したバンド名です。】

# ガレージ通信

夢・進路相談室だより第7号  
三条市立下田中学校  
TEL 46-2020  
FAX 46-2036  
令和5年10月6日(金)発行

## 「あいさつ」「聴き方」「言葉遣い」

～ 部活シーズンが終り、「学力」を实らせる秋にするために！？ ～

三条市立下田中学校 校長 小熊 哲也

南魚沼市の学習指導センターで勤務していた時のことです。当時(平成24年25年)、学力日本一を誇るのが秋田県でした。何が?どこが?違うのか?を調査すべく、秋田県内で最も学力の高い、横手市の小中学校へ視察に行くことになりました。そこには何か特別なカリキュラムがあるわけではなく、特別に職員が多いわけでもなく、ごく普通の市立学校でしたが… ただ一つ、小中学校が共通して、際立って徹底していることがありました。それが…

## 「あいさつ」「聴き方」「言葉遣い」です!!

驚愕したのが、小学1年生が、背筋を伸ばし、教壇の先生に正対するのはもちろんのこと、発言する級友へもその都度、向きを変えて、しっかりと視線を合わせて傾聴していました。またその際の発言時に引用する言葉もきちんとした敬語を小学1年生が活用していました。私は、なぜ秋田が学力日本一なのかが、スッキリと納得することができました。「百聞は一見に如かず(Seeing is believing.)」でした。学校学力の根源は、今も昔も変わらず…

①先生や級友が話している時は、私語をせず、しっかりと傾聴する!

②話し手の目を見て、正対して、落ち着いて、最後まで聴き取る!

③授業中は、きちんとした言葉遣いで互いを尊重し、思いやる心で、意見交換する!

「あいさつ」「聴き方」「言葉遣い」なら、どの学校でも、明日からでも、実行可能な取組です!「あいさつ」については、もともと下田中も長年にわたり、取り組んできた実績があります。

今週の陸上部で新人戦は、全て終了しました。暑さも収まり、部活はオフシーズンを迎え、世の中の的には「読書の秋」とか、「芸術の秋」とか、中には「食欲の秋」と言った話題が聞こえてくる季節です。下田中学校でも熱中し、活躍し、成果を上げた部活シーズンから、「学習の秋」シーズン到来を迎えましょう!

同じ話を職員会議でも伝えてあります。先生方は、皆さんの学力のことをいつも、とても、心配しています。

まずは、11月8日(水)9日(木)の第三考査に向けて、秋田県が日本一になった、「あいさつ」「聴き方」「言葉遣い」を下田中学校も実践し、「学力」を实らせる秋にしましょう!

【集会時は全校生徒が、とても傾聴しています】



## 授業中の「あいさつ」「聴き方」「言葉遣い」

① 始業前に学習準備、きちんと正対して、「礼」に始まり、「礼」で終わろう♡

② 先生の説明時・級友の発言時に私語はしない! 目を見て、相手の気持ちになって、「傾聴」する。

③ 敬語は他者を敬う心の表現! 大人へはもちろん、授業時は級友に対しても「思いやりの心」で活用を!

◎校長先生一言アドバイス『ワークは繰り返しやろう!「答え写し」は学力に反映しません。』です!

**Let's do our best in the third examination** ♥